

加尾区防災マップ 土砂災害

土砂災害
避難場所
区指定

津波避難場所
各自、3カ所のうち近隣の避難場所へ避難
区指定

土砂災害区域

- 特別警戒区域
- 警戒区域



加尾区では、大雨による浸水被害は想定されていませんが、写真のように水路からの氾濫による浸水は過去に発生しています。浸水した水の中を無理に歩いたり移動すると、水路に転落する恐れもあるため、無理な移動は避けてください。



適切な避難行動

避難の種類と行動 避難行動には、①避難所や、近隣の安全な場所(近隣のより安全な場所・建物など)への「立退き避難」、②「立退き避難」をすとかえって危険な場合は、その時点で居る建物内でより安全な部屋などへ移動する「屋内安全確保」、③2階以上の高いところへ避難する「垂直避難」があります。

1 立退き避難 (水平避難)

2 屋内安全確保

3 垂直避難

避難時の心得

- 火の元(コンロ、暖房器具、タバコ、線香など)と戸締りを確認、電気はブレーカーを落として、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。
- 動きやすい服装で、必要最小限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。
- 深さ30cmを超えると自動車は走行困難になります。

地域での助け合い

- 肢体不自由な人には…**
 - 階段では2人以上が必要です。のぼりは前向き、くだりは後ろ向きにして移動しましょう。
- 耳が不自由な人には…**
 - くちをはっきりと開け、相手に分かりやすいように話しましょう。
 - 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝えましょう。
- 目が不自由な人には…**
 - 災害時には、声を掛け情報を伝えましょう。
 - 誘導する場合は、支援者のひじ辺りを軽く持ってもらう、半歩前をゆっくり歩きましょう。
- 外国人には…**
 - 身振りや手振りで話し掛け、孤立しないようにしましょう。

非常食 ご飯(アルファ米など)、ビスケット、板チョコ、缶詰、レトルト食品、飲料水など

日用品 トイレtpペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど

※最低限「3日分」、大規模災害発生時には「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。
※飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意するなどの備えをしておきましょう。
※備蓄した食品の賞味期限切れなどを選避けるためには、回転備蓄(ローリング・ストック)が有効です。

立退き避難が必要となる家屋等の表示 (マーク)

- 土砂災害の危険時に立退き避難が必要となる家屋

注意

上記の立退き避難が必要な家屋表示がなされていない家屋でも、土砂災害の被害エリア内の場合は、安全な段階に指定の避難場所へ避難して下さい。しかし、深夜や降雨等により避難することが危険な場合は、2階以上の場所で身を守ってください。